



照葉樹林内で普通に見られる。



葉質は草状革質。



小さい褐色の鱗片が圧着する。

### 区別のポイント

葉柄基部には線形で柔らかい褐色の鱗片を密に付ける。葉は3回羽状深裂。

**形態** 常緑性の大型のシダ植物。

**分布** 本州（千葉県以西）・四国・九州・沖縄

**名前の由来** 鱗片を褐色の毛に見立てた。

**葉** **〈全体〉**葉身は卵状三角形で2回羽状複葉、長さ45～70 cm。

**〈葉柄〉**基部の鱗片は線形で1.5～2 cm。上部に付く鱗片は薄くて圧着したように付き、基部は心形・下部は卵形・先端は毛状に伸びる。葉柄の長さは葉身と同じくらい。**〈羽片〉**最下羽片が最大で左右非対称の三角形。最下羽片の下側第一小羽片が最大で、下から5～6番目の羽片と似た形。小羽片は長楕円形で鋭頭、全縁から鋸歯縁、長さ2～6 cm、幅7～15 mm。

**備考**

**出典** 3